

授業科目、担当者（実務経験のある教員等含む）及び時間数の一覧

2021 年度

学校名	専門学校金沢美専
学科名	美容学科(2年)

単位時間

区分	科目名	教員名	実務経験 の有無	1年次		2年次		合計	
				前期	後期	前期	後期		
授業科目及び授業時間数表	専門科目	関係法規・制度	高西 直正			10		10	
		衛生管理	水本 健一	○			20	20	40
		保健	滝口 大輔	○			20	20	40
		化粧品化学	滝口 大輔	○			20		20
		文化論	坪ノ内 美樹	○			20		20
		美容技術理論	泉谷 愛子	○			30	30	60
		運営管理	作本 智美				10		10
		美容実習	田中 美紀	○					510
		ワインディング	小島 光世						
		オールウェーブ	水本 健一						
		カット	滝口 大輔						
		国家試験課題	泉谷 愛子 谷 知里						
		美容総合技術	水本 健一	○					240
		<共通> サロンワーク応用Ⅱ	滝口 大輔						
	<ヘアスタイリスト> カット応用Ⅱ	泉谷 愛子							
	<ヘアスタイリスト> アシスタント実務Ⅱ	表 康子							
	<ブライダル・ヘアメイク> メイク応用	金作 純子							
	<ブライダル・ヘアメイク> 着付	谷 知里							
	<ブライダル・ヘアメイク> ブライダルスタイリスト実務Ⅱ								
	美容演習	水本 健一	○					60	
クリエイティブスタイル	田中 美紀								
フォト撮影	滝口 大輔								
小 計 (単位時間)				0	0	480	530	1010	
一般 教養	キャリア・デザイン	水本 健一 作本 智美				20		20	
	接遇・マナー	小島 光世				30		30	
小 計 (単位時間)				0	0	50	0	50	
合 計 (単位時間)				0	0	530	530	1060	
うち、実務経験のある教員の時間数 (単位時間)				0	0	290	460	750	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
関係法規・制度(前期)		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	5回	10単位時間	必須	高西 直正
授業の概要				
理容師・美容師の業務は公衆衛生の視点において法的規制の下にあることから、行政機関による指導のもとで法令を守った業務を行うことの重要性を学び、理容師・美容師の志望者に対して必要な法的規制の内容・仕組み等を、教科書「関係法規・制度」に準拠して学修する。				
授業終了時の到達目標				
・公衆衛生における必要な規制内容等の抽象的な事項について、美容業務の遂行過程における具体的な場面や事項を自らが説明できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	1年次履修部分の復習	法制度の概要と衛生行政機関である保健所の役割等美容師と美容所に対する規制の再確認する。		
2	開設者が講ずべき衛生措置・その他	開設者が行うべき美容所の衛生措置の内容その他を具体的に学修する。		
3	立入検査と環境衛生監視委員・その他 憲法第35条	美容所への立ち入り検査、及び違反者等に対する行政処分等を説明できる。		
4	理容師法・美容師法の罰則 関連法規	刑事罰である罰則及び衛生法等の関連法規を理解する。		
5	2年次履修部分の復習	練習問題や正誤問題の施行を通して復習をする。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
関係法規・制度 公益社団法人 日本理容美容教育センター		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
衛生管理		美容学科/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	20回	40単位時間	必須	水本 健一
授業の概要				
<p>微生物の種類・構造・特徴・生態について、感染症の予防方法を考え、主な感染症、感染を防止する手段などを理解し、 理学的消毒法の煮沸消毒、紫外線消毒、蒸気消毒の方法。化学的消毒法の次亜塩素酸ナトリウム、界面活性剤、グルコン酸クロルヘキシジン、消毒液の作り方などを学修する。 衛生管理技術では、理学的（熱、紫外線）、化学的（各消毒薬）方法での基本的技術を学修する 美容法の理解と知識を深めることも合わせて学び、美容室での実践編も学修する</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>微生物の種類・構造・特徴・生態などを説明できる。 消毒方法・消毒液を説明できる。 衛生管理技術の理学的、化学的消毒法の違いを説明できる。 美容師法第8条 第13条を説明できるようになる。</p>				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンの店長として、5年間サロンの運営及び経営の実務に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	感染症の総論① 感染症の予防	1. 微生物の病原性と人体の感受性。 2. 汚染、感染及び発病。3. 常在細菌叢。		
2	感染症の総論② 感染症の予防	4. 免疫と予防接種 5. 感染症発生の要因 6. 感染症予防の3原則。		
3	感染症の各論① 理容・美容と感染症 主な感染症	1. 空気・飛沫を介して感染する感染症①。		
4	感染症の各論② 主な感染症	1. 空気・飛沫を介して感染する感染症②。		
5	感染症の各論③ 主な感染症	2. 飲食物を介して感染する感染症。		
6	感染症の各論④ 主な感染症	3. 血液を介して感染する感染症。		
7	感染症の各論⑤ 主な感染症	4. 動物・節足動物を介して感染する感染症。		
8	感染症の各論⑥ 主な感染症 具体的な対策例	1. 標準の予防策2. 咳のある客への対応。 3. 病変の皮膚を持つ客、嘔吐をした客への対応。		
9	消毒法の総論① 消毒とは 消毒の意義	1. 病原、非病原微生物 2. 消毒の原理 1. 汚染・感染・発病と消毒2. 殺菌・消毒・滅菌・防腐の定義。		
10	消毒法の総論② 美容の業務と消毒 消毒法の注意	1. 消毒に関連のある法 2. 理容師・美容師の責任 1. 種類2. 必要な条件3. 微生物の抵抗力4. 使用、保存上の注意。		
11	消毒法の各論① 理学的消毒法	1. 紫外線2. 煮沸3. 蒸気4. その他の理学的消毒法。		
12	消毒法の各論② 化学的消毒法	1. アルコール2. 次亜塩素酸ナトリウム3. 界面活性剤4. グルコン酸クロルヘキシジン5. その他。		

回	テ ー マ	内 容		
13	消毒法の各論② 消毒法と実施上の注意	1. 優れた消毒法 2. 消毒を行う際の注意。		
14	消毒法の実習① 各種消毒薬	1. 消毒薬の概要 2. 器具の使い方。		
15	消毒法の実習② 各種消毒薬	3. 消毒薬と希釈薬の濃度 4. 希釈法①。		
16	消毒法の実習③ 理容所・美容所の消毒の実際	4. 希釈法② 1. 消毒の原則 2. 消毒設備 3. 器具類の消毒 4. 手指消毒。		
17	消毒法の実習④ 理容所・美容所の清潔法の実際	5. その他の消毒 6. 消毒の現状 1. 清潔保持 2. 清浄法 3. 洗い場 4. 清掃 5. 汚物箱の消毒 6. ハエやカの駆除。		
18	理容所及び美容所における衛生管理 要領	1. 衛生的取り扱い 2. 自主的管理体制。		
19	理容所及び美容所における衛生管理 要領	自主管理点検表。		
20	衛生管理1編～5編 まとめ	総合問題で考察。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
衛生管理公益社団法人 日本理容美容教育 センター		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	授業の前後には予 習、復習して習熟 を図る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
保健		美容学科/2年	2021/通年	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	20回	40単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
皮膚および付属器官の構造、循環器系と血管の、生理機能、疾病ならびに保健の概要について学修する。				
系統的知識を美容技術と関連している事を学修する。美と科学的な技術と知識を深く知る。				
授業終了時の到達目標				
皮膚の構造、付属器官、循環器系、生理機能、疾病の関連性について説明できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	皮膚の表面、断面 表皮と真皮の境 真皮 皮下組織 皮膚の部位差	肌の構造・役割 断面図から学修。		
2	毛 脂腺 汗腺 爪	皮膚の付属器官、毛・汗腺・爪 構造から学修。		
3	皮膚の血管、リンパ管、神経	皮膚の血管の基本構造・リンパ管の役割 分布ならびに組織を学修。		
4	対外保護、体温調節、知覚作用と皮膚反射 分泌排泄作用	皮膚と付属器官の生理機能 断面や組織働きを学修。		
5	呼吸、吸収、貯蔵、免疫・解毒・排除ビタミンD形成、表情、再生、毛 爪	皮膚の吸収作用 経路から学修。		
6	皮膚と全身状態、皮膚と精神、皮膚と栄養、皮膚とし好品、皮膚と体内疾患	皮膚の栄養と嗜好品 外部影響と体内変化を学修。		
7	皮膚と水分と脂の状態、皮膚・付属器官とホルモン皮膚の保護と手入れ	肌の状態 手入れの方法を学修。		
8	毛と爪の保護と手入れ、子供たちのおしゃれによる皮膚トラブル	皮膚のおしゃれ障害 トラブルを学修。		
9	皮膚の異常とその種類 疾患の原因 疾患の治療法	発疹からアレルギー、治療法を学修。		
10	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹 口唇の疾患	肌疾患の種類、口周りの疾患を学修。		
11	第1章～第2章まとめ	皮膚構造・付属器官の構造に関する要点をまとめる。		
12	第3章～第4章まとめ	皮膚と皮膚循環器系・神経系・生理機能に関してまとめる。		
13	第5章のまとめ	皮膚と皮膚付属器官の保健についてまとめる。		
14	皮膚の異常とその種類 疾患の原因 疾患の治療法	発疹からアレルギー、治療法を学修。		

回	テ ー マ	内 容		
15	皮膚炎と湿疹・蕁麻疹・薬疹 口唇の疾患	肌疾患の種類、口周りの疾患を学修。		
16	湿熱・寒冷による皮膚障害 角化異常による 色素異常による皮膚疾患	熱傷・凍傷・凍瘡、色素異常について学修。		
17	血管腫 脂腺母斑 下肢静脈瘤 分泌以上による皮膚疾患	血管の影響、分泌影響による皮膚疾患について学修する。		
18	化膿菌による皮膚疾患 ウイルスによる皮膚疾患 真菌による皮膚疾患	細菌・ウイルス・真菌による疾患について学修する。		
19	衛生害虫による皮膚疾患 感染症の皮膚疾患の予防	動物による疾患について学修。		
20	毛と爪の疾患 皮膚の腫瘍	毛、爪の疾患・腫瘍について学修。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
保健 公益社団法人 日本理容美容教育センター		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
化粧品化学 (前期)		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	10回	20単位時間	必須	滝口 大輔
授業の概要				
<p>頭毛・毛髪で健やかに保つために使用する化粧品と毛髪を美しく魅力的にするために使用する化粧品について、成分や機能を学び、その適切な使用方法等を習得させる。また、香香製品とサンケア製品、美白用化粧品などの特殊化粧品などの使用目的や効能などについて学修する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・頭皮と毛髪用化粧品や芳香製品、特殊化粧品の配合成分、効能、原理、使用目的などを説明できる。 ・美容技術に必要な知識が身につく。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	シャンプー剤	シャンプー剤・ヘアリンス剤・ヘアトリートメント剤。		
2	スタイリング剤	スタイリング剤の機能、油性スタイリング剤、液状スタイリング剤。		
3	スタイリング剤	高分子物質を基剤とするスタイリング剤。皮膜形成剤を配合しない高分子スタイリング剤。		
4	パーマ剤	パーマの原理、パーマ剤の分類。		
5	パーマ剤	パーマ剤第一剤、パーマ剤第二剤、パーマ剤使用上の注意。		
6	ヘアカラー製品	ヘアカラー製品の種類と染毛メカニズム、一時染毛料、半永久染毛料、脱色剤、脱線剤。		
7	ヘアカラー製品	永久染毛剤、ヘアカラー製品の使用上の注意、その他のヘアカラー製品		
8	育毛剤	育毛の原因、育毛剤の種類と機能、育毛・養毛剤の原料。		
9	芳香製品	香水、オーデコロン、その他の芳香製品、芳香製品の効用と使用上の注意。		
10	特殊化粧品	サンケア製品、美白用化粧品、制汗・防臭剤、ニキビ用化粧品。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
化粧品化学 (公社) 日本理容美容教育センター		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
文化論(前期)		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	10回	20単位時間	必須	坪ノ内 美樹
授業の概要				
人類の歴史の中で理容、美容の変遷の過程を知る事は、現代のそれらを理解するために非常に重要である。特に各時代の人々がどのような時代背景の元でどのような美しさを求めたかを知ることは今求められている「美しさ」を知る手掛かりとなる。				
授業終了時の到達目標				
どのような時代背景の中で、どのような美しさを求めたのかを知る。 今、求められている「美しさ」の意味が理解できる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ		内容	
1	ファッション文化史 西洋編 近世①		ルネサンスの時代、ヨーロッパの国々は大航海時代を経て飛躍的に豊かになった。大きな流れについて学修。	
2	ファッション文化史 西洋編 近世②		17、18世紀の貴族やブルジョアのファッション 洋服の歴史の中でも、バラエティに富んでいる時代を学修。	
3	ファッション文化史 西洋編 近世③		貴族の各流夫人の開催するサロンが盛んに開かれ 優雅な社交界には独特な文化の交流がある事を学修。	
4	ファッション文化史 西洋編 近代		フランス革命により政治体制が共和制なり、帝制へと 変わっていった事による ファッション、変遷を学修。	
5	ファッション文化史 西洋編 現代(1910~1930年代)		新聞・雑紙などのマスコミの力が大きくなり ファッションもマスコミと切り離せない関係を知る。	
6	ファッション文化史 西洋編 現代(1930~1940年代)		スターが髪型の流行を先どりし ファッションにも 影響している事を学修する。	
7	ファッション文化史 西洋編 現代(1940~1960年代)		映画女優に影響されるスタイルが確立され 巨大ファッションビジネスが誕生した事を学修する。	
8	ファッション文化史 西洋編 現代(1960~2010年代)		若者文化に寄り添うヘアスタイル 日本人デザイナーの 活躍を学修する。	
9	ファッション文化史 西洋編 和装、洋装の礼装		和装、洋装の礼装について学修する。	
10	ファッション文化史 確認テスト		ファッション文化史の西洋編の総まとめとして確認テスト を実施する。	
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
文化論 公益社団法人日本理容美容教育センター教科書		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (前期)		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子
授業の概要				
美容技術においての知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる。美容器具の正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術を実際に即して指導し習熟させる。優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する。				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格。美容師としての必要知識と同時に衛生分野である事を意識した仕事ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	エステティック①	エステティックの概論、皮膚の生理と構造を理解する。 カウンセリングの大切さを知る		
2	エステティック②	マッサージ理論、マッサージの基本手技 相モデルでの実践練習		
3	エステティック③	フェイシャルエステティック、ボディエステティック エステティックのまとめ (小プリントの回答と解説)		
4	ネイル技術①	ネイル技術の総論、ネイルの教材の種類、 爪の構造と機能の理解フェイシャルエステティック、ボ ディエステティック		
5	ネイル技術②	前回の復習も兼ねた爪の構造と機能を修得する		
6	ネイル技術③	アーティフィシャル技術と道具の名称		
7	ネイル技術④	アーティフィシャルネイル技術の手順		
8	ネイル技術⑤	手と足のマッサージを修得する ネイル技術のまとめ (小プリントの回答と解説)		
9	メイクアップ①	メイクアップの総論、皮膚の構造、メイクアップ道具を学 修する		
10	メイクアップ②	ベースメイクとファンデーションの基礎知識を修得する		
11	メイクアップ③	アイメイクアップとまつ毛エクステンションの基礎知識の 修得する		
12	メイクアップ④	メイクアップ技術のまとめ (小プリントの回答と解説)		
13	日本髪①	日本髪の由来、各部名称を覚える 日本髪の装飾品と日本髪の結髪技術の知識を学修		
14	日本髪②	日本髪のまとめ (小プリントの回答と解説)		

回	テ ー マ	内 容		
15	日本髪③	日本髪のまとめ（小プリントの回答と解説） 期末テスト対策		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論2（公益財団法人 日本理容美容教育センター）		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容技術理論 (後期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2021/後期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	泉谷 愛子
授業の概要				
美容技術における知識を衛生的、能率的に実践する態度と習慣を養い、工夫と創造の能力を身につけさせる。美容器具の正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術を実際に即して指導し習熟させる。優れた美容技術は、経験によってだけ得られるものではなく、科学的合理的な方法によって把握されなければならないことを強調する				
授業終了時の到達目標				
美容師国家試験合格。美容師として必要知識と同時に衛生分野である事を意識した仕事ができるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	着付けの理論と技術①	気付けの目的、礼装の種類 帯の種類と小物の名称を知ってもらう		
2	着付けの理論と技術②	着物各部名称、着物のたたみ方、着付けの一般要領の理解、		
3	着付けの理論と技術③	婚礼着付けの注意事項を知ってもらう 和装花嫁、洋装花嫁		
4	着付けの確認テスト 技論2の総まとめ	練習問題を通して着付けのまとめをしていく 国試対策をする		
5	復習①技術理論1	カッティング基礎理論 シザーとレザーの扱い方・カッティングの正しい姿勢		
6	復習②技術理論1	パーマメントウェーピングの理論 ブロッキング・パーマメントウェーブ理論		
7	復習③技術理論1	ヘアカラーリング概要求 種類・タイプ別特徴・染毛のメカニズム・注意事項等 アンダートーンとレベルについて 酸化染毛剤/酸性染毛剤 の技術プロセス		
8	復習④技術理論1	ヘアセッティングとは パーティンク、ウェーピング フィンガーウェーブ・ウェーブ・カール技術		
9	復習⑤技術理論2	エステティック概論 マッサージ理論 フェイシャルケア ボディケア 脱毛ケア		
10	復習⑥技術理論2	ネイル技術概論 種類 爪の構造 爪のカット形状 注意事項とカウンセリング マニキュア ペディキュアリ ペア技術 由来 各部の名称 種類と特徴		
11	復習⑦技術理論2	メイクアップ概論 皮膚の生理学・構造 メイクアップの 基本テクニック		
12	復習⑧技術理論2	着付けの理論と技術 目的・帯の種類・着付け技術		

回	テ ー マ	内 容		
13	確認テスト① 国家試験対策	ミニプリント（カッティング基礎詩論、パーマネットウェービングの理論、ヘアカラーリング概要） 解答・解説		
14	確認テスト② 国家試験対策	ミニプリント（ヘアセッティング、エステティック概論・ネイル技術概論・メイクアップ概論、着付けの理論と技術） 解答・解説		
15	確認テスト③ 国家試験対策	総合復習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 2 公益社団法人日本理容美容教育センター		授業態度 確認テスト	30.0% 70.0%	前回の復習を行う 小テストの問題は 全問正解できるようになるまで反復 練習する

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
運営管理 (後期)		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	5回	10単位時間	必須	作本 智美
授業の概要				
経営者の視点 (立場にたつという意味) での経営意識を持つ。そのために経営者の立場から仕事を考える。経営の基本を身につけ、組織マネジメントが重要であることを学修する。				
授業終了時の到達目標				
経営基本をイメージし、組織マネジメントが重要である事を認識する。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	サービス・デザイン	顧客が求める価値を理解し、その満足度を高めるためのサービスの提供について学修する。		
2	マーケティング	理容業・美容業におけるマーケティングについて学修する。		
3	マーケティングミクス	理容業・美容業におけるマーケティングミクスを構成する要因について学修する。		
4	接客	サービスにおける接客の重要性について理解し、良い接客とは何かを考える		
5	確認テスト	ここまでの学修を振り返り、確認テストを実施する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
運営管理 (公社) 日本理容美容教育センター教科書		確認テスト 期末試験	30.0% 70.0%	

作成者:水本健一

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(ワインディング)		美容学科/2年	2020/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/ 滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
美容技術の基礎、応用を実習を通して体得していく。理論と知識を活用し、裏付けのあるものにする。前期はワインディング技術に加え、オールウェーブセッティング技術・カット技術の修得の為にワインディング技術に特化した技術を学修する。なお3課題は、美容師国家試験課題に含まれる。				
授業終了時の到達目標				
国家試験の合格を念頭に置きながら、サロンワークに活用できる技術が身に付く。衛生の技術を向上・修得を実現する。定期的な技術チェックを受けワインディングの技術が向上する。評価基準に基づき、能力が身に付く。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	国家試験第2課題 ワインディング(22分)①	タイム短縮、シェープの角度、方向・スライス線・構成の練習。		
3~4	国家試験第2課題 ワインディング(22分)②	タイム短縮、シェープの角度、方向・スライス線・構成の練習。		
5~6	国家試験第2課題 ワインディング(20分)③	タイム短縮・ロッド両端の毛束の状態、シェープの角度、方向・スライス線・構成の練習。		
7~8	国家試験第2課題 ワインディング(20分)④	タイム短縮、ロッド両端の毛束の状態、シェープの角度、方向・スライス線・構成の練習。		
9~10	【定期チェック2】国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑤	定期チェックの実施。シェープの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態、スライス線・構成の練習。		
11~12	国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑥	デザイン巻きの考察。シェープの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態・スライス線・構成練習。		
13~14	国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑦	デザイン巻きの考察。シェープの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態・スライス線・構成練習。		
15	【定期チェック1】国家試験第2課題 ワインディング(20分)⑧	期末試験の実施。シェープの角度、方向・ロッド両端の毛束の状態・スライス線・構成の考察。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 公益社団法人 日本理容美容教育センター		定期チェック1 定期チェック2 定期試験	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(オールウェーブ)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	田中美紀/小島光世/水本健一/ 滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
美容技術の基礎、応用を実習を通して体得していく。理論と知識を活用し、裏付けのあるものにする。前期はワインディング技術に加え、オールウェーブセッティング技術・カッティング技術の修得の為にオールウェーブセッティング技術に特化した技術を学修する。なお3課題は、美容師国家試験課題に含まれる。				
授業終了時の到達目標				
国家試験の合格を念頭に置きながら、サロンワークに活用できる技術が身に付く。衛生の技術を向上・修得を実現する。定期的な技術チェックを受けオールウェーブセッティングの技術が向上する。評価基準に基づき、能力が身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~ 2	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(35分)①	タイム内・ループ、バランスの考察。 7段構成の実習、構成ごと練習。		
3~ 4	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(35分)②	タイム内・スタンドアップカールの考察。 7段構成の実習、構成確認(ウェーブ、リッジ)。		
5~ 6	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(35分)③	タイム内・フラットカールの考察。 7段構成の展示、実習、構成確認(ループ、つながり)。		
7~ 8	【定期チェック1】国家試験第2課題 オールウェーブ実践(35分)④	【定期チェック】タイム内・全体バランスを考察。 7段構成の展示、実習、構成確認(全体の把握)		
9~ 10	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(30分)⑤	タイム短縮・バランス向上練習。 実習、構成確認(第6, 7段の理解の考察)		
11~ 12	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(30分)⑥	タイム内・バランス仕上がり条件考察。 7段構成の展示、実習、構成確認。		
13~ 14	国家試験第2課題 オールウェーブ実践(30分)⑦	タイム内・バランス仕上がり条件考察。 7段構成の展示、構成確認。試験。		
15	【定期チェック2】国家試験第2課題 オールウェーブ実践(30分)⑧	タイム内・バランス仕上がり条件考察。 7段構成の展示、構成確認。試験。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 公益社団法人 日本理容美容教育センター		定期チェック1 定期チェック2 定期試験	10.0% 10.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(カット)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	20回	60単位時間	必須	田中美紀/小島光世/谷知里/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
美容技術の基礎、応用を実習を通して体得していく。理論と知識を活用し、裏付けのあるものにする。前期はワインディング技術に加え、オールウェーブセッティング技術・カット技術の修得の為にカット技術に特化した技術を学修する。なお3課題は、美容師国家試験課題に含まれる。				
授業終了時の到達目標				
国家試験の合格を念頭に置きながら、サロンワークに活用できる技術が身に付く。衛生の技術を向上・修得を実現する。定期的な技術チェックを受けカット技術が向上する。評価基準に基づき、能力が身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	国家試験第1課題 カット実践①	道具のセッティング、シザーの開閉練習、コームの使い方、ブロッキングを学修する。		
3~4	国家試験第1課題 カット実践②	国家試験課題レイヤーカットの作業手順の説明。レイヤーカットの技術展示・実習(ブロッキング、アウトライン)		
5~6	国家試験第1課題 カット実践③	レイヤーカットの技術展示・実習(～第3ブロック)。		
7~8	国家試験第1課題 カット実践④	レイヤーカットの技術展示・実習(第2・第1ブロック)。		
9~10	国家試験第1課題 カット実践④	レイヤーカットの技術展示・実習(フロント・サイド)。		
11~12	【定期チェック】国家試験第1課題 カット実践⑥	ここまでの学修を振り返り、定期チェックを実施する。		
13~14	国家試験第1課題 カット実践⑦	タイム短縮を意識しながら、全頭カット 点と点、線と線のつながり向上を意識する。		
15~16	国家試験第1課題 カット実践⑧ 40分	タイム短縮を意識しながら、全頭カット(15cm) タイム40分内、切り残し、つながり、バランス考察。		
17~18	国家試験第1課題 カット実践⑨ 40分	タイム短縮を意識しながら、全頭カット(15cm) タイム40分内、切り残し、つながり、バランス考察。		
19~20	国家試験第1課題 カット実践⑧ 30分	タイム短縮を意識しながら、全頭カット(15cm) タイム30分内、切り残し、つながり、バランス考察。		
21~22	国家試験第1課題 カット実践⑪ 30分	タイム30分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
23~24	国家試験第1課題 カット実践⑫ 25分	タイム25分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
25~26	国家試験第1課題 カット実践⑬ 25分	タイム25分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		

回	テ ー マ	内 容		
27~ 28	国家試験第1課題 カッティング実践⑭ 20分	タイム20分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
29~ 30	国家試験第1課題 カッティング実践⑮ 20分	タイム20分、切り残し、つながり、バランス考察 (ヘムライン、ブロック毎、長さ)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 公益社団法人 日本理容美容 教育センター		定期チェック 期末試験	20.0% 80.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
美容実習(国家試験対策)(後期)		美容学科/2年	2020/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	195回	390単位時間	必須	田中美紀/小島光世/谷知里/水本健一/滝口大輔/泉谷愛子/
授業の概要				
<p>○オールウェーブセッティング/技術の条件、全体のバランス、頭部の縦3等分、フィンガーウェーブ構成、ピンカール構成、ピニングの状態、時間内</p> <p>○ワインディング/技術の条件、ロッドの種類、配列、方向性、ステムの角度、巻き収め、ブロッキングの理解、輪ゴムの掛け方、時間内</p> <p>○カッティング/技術の条件、カットラインの繋がり、長さの正確さ、仕上がりの美しさと時間内</p> <p>○衛生技術/モデルウィッグ、身なり、用具類、試験実施中、試験終了後の衛生技術習得</p>				
授業終了時の到達目標				
オールウェーブセッティング・ワインディング・カッティングの3課題技術を習得することで、現場の基礎技術が身に付く。衛生技術の向上、身なりの衛生・身体の衛生・用具類の衛生を項目ごとに理解でき、現場の基礎技術が身に付く。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 小島・滝口・泉谷は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	国家試験対策 衛生試験対策	国家試験課題の衛生試験についての説明。 道具の準備とセッティングについて		
3~4	国家試験対策 第2課題 ①オールウェーブ実践(25分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 7段構成の展示、ウェーブ構成、頭部の縦1/3確認。		
5~6	国家試験対策 第2課題 ①ワインディング(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 未完成部分がない 巻き残しがない。		
7~8	国家試験対策 第1課題 ①カッティング実践(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 長さ(10cm・14cm)、つながり、切り残し確認。		
9~10	国家試験対策 第2課題 ②オールウェーブ実践(25分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 ハーフウェーブ、フィンガーウェーブ構成確認。		
11~12	国家試験対策 第2課題 ②ワインディング(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 スライスの角度、方向性、スライスの正確さ。		
13~14	国家試験対策 第1課題 ②カッティング実践(20分)	タイム残り1分で仕上げる。全体バランス向上練習 長さ(8cm・12センチ)、つながり、切り残し確認。		
15~16	衛生対策授業 ①(第1課題審査項目)	国家試験の衛生試験について考察する。 (第1課題中心)		
17~18	衛生対策授業 ②(第2課題審査項目)	国家試験の衛生試験について考察する。 (第2課題中心)		
19~20	国家試験対策 第2課題 ③オールウェーブ実践(25分)	タイム内2回。全体バランス向上練習 ピンカール、ループ・ステム・カールスペース構成確認		
21~22	国家試験対策 第2課題 ③ワインディング(20分)	タイム内 全体バランス向上練習 スライスの正確さ、ロッドの巻き収め状態、構成確認。		
23~24	国家試験対策 第1課題 ③カッティング実践(20分)	タイム内2回。全体バランス向上練習 長さ(6cm・10cm)、つながり、切り残し確認。		

回	テ ー マ	内 容
25～ 26	実技模擬授業 ①(衛生審査、第1、2課題)	試験の準備、施術時間、片付け等、国家試験全般について 考察する。
27～ 28	実技模擬授業 ②(衛生審査、第1課題)	モデルウィッグの考察。 ブロッキングを考察。施術のデモンストレーション。
29～ 30	衛生・実技授業 ①(第1、2課題 衛生審査項目)	試験の準備、施術時間、片付け等考察する。 実技練習を実施。
31～ 32	実技模擬授業 ③(衛生審査、第2課題)	タイム内を2回。全体バランス見直し。 構成・規定、前回の修正点から考察する。
33～ 34	実技模擬授業 ④(衛生審査、第2課題)	タイム内を3回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察する。
35～ 36	実技模擬授業 ⑤(衛生審査、第2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察する。
37～ 38	衛生・実技授業 ②(審査項目)	準備時間前のモデルウィッグ審査、準備作業 について考察。実技練習を実施。
39～ 40	衛生・実技授業 ③(審査項目)	身体及び服装等の概要、頭髪、手指の状態の考察する。 実技練習を実施。
41～ 42	実技模擬授業 ⑥(衛生審査、第1・2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察する。
43～ 44	衛生・実技授業 ④(審査項目)	爪の清潔保持、作業衣の着用状態を考察する。 実技練習を実施。
45～ 46	実技模擬授業 ⑦(衛生審査、第1・2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察。
47～ 48	衛生・実技授業 ⑤(審査項目)	衣服・履物の作業適正状態を考察する。 実技練習を実施。
49～ 50	実技模擬授業 ⑧(衛生審査、第1・2課題)	タイム内を4回。全頭のバランス見直し。 構成・規定を前回の修正点から考察。
51～ 52	衛生・実技授業 ⑥(審査項目)	装飾品の装着禁止、手指消毒を考察する。 実技練習を実施。
53～ 54	準備・実施・取り扱いの実習 ①受験案内配布、説明。	願書提出までの流れ、受験票、準備物、規則を考察する。 実技、筆記試験までの流れを考察する。
55～ 56	準備・実施・取り扱いの実習 ②準備物、取り扱い、条件の共有。	準備作業・技術の条件・衛生上の取り扱いを考察する。
57～ 58	衛生・実技授業 ⑦(審査項目)	自己採点と改善点、自己評価/他者評価を考察する。 第1、2課題反復練習。
59～ 60	衛生・実技授業 ⑧(審査項目)	自己採点と改善点の考察。 技術の適合を見る。チーム編成と技術の考察する。
61～ 62	衛生・実技授業 ⑨(審査項目)	自己採点と改善点、他者採点と改善点の考察する。 実技練習の実施。
63～ 64	衛生・実技授業 ⑩(審査項目)	自己採点と改善点・他者採点と改善点の考察。 規定タイム内で行う、自己チェックの説明と考察する。
65～ 66	衛生・実技授業 ⑪(審査項目)	落下用具類の消毒・使用許可、出血応急処置の考察する。 実技練習の実施。
67～ 68	衛生・実技授業 ⑫(審査項目)	自己採点と改善点・他者採点と改善点の考察。 規定タイム内で行う、自己チェックの考察と実施。
69～ 70	衛生・実技授業 ⑬(審査項目)	自己採点と改善点・他者採点と改善点の考察。 規定タイム内で行う、自己チェックの考察と実施。

回	テ ー マ	内 容
71~ 72	衛生・実技授業 ⑭(審査項目)	用具類の貸借・追加取り出し、迷惑行為、衛生面に配慮した作業姿勢を考察。実技練習の実施。
73~ 74	準備・実施・取り扱いの実習 ⑮準備物、取り扱い、条件の共有。	受験の流れ・受験場所・準備物・集合時間・衛生上の取り扱い、技術条件の考察。
75~ 76	実技模擬授業 ⑯(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から自己採点と改善点を考察する。 衛生上の取り扱いを考察。
77~ 78	実技模擬授業 ⑰(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から他者採点と改善点を考察する。 衛生上の取り扱いを考察。
79~ 80	実技模擬授業 ⑱(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から他者採点と改善点を考察する。 衛生上の取り扱いを考察。
81~ 82	実技模擬授業 ⑲(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から自己採点と改善点の考察する。 技術終了時間2分前終了を目指す。
83~ 84	衛生・実技授業 ⑳(審査項目)	作業の指示違反、汚物入れの収納状況、作業終了後の用具類収納状況の考察する。実技練習の実施。
85~ 86	実技模擬授業 ㉑(衛生審査、第1・2課題)	技術の条件から自己採点と改善点の考察。 技術終了時間2分前を目指し、チェック項目の考察する。
87~ 88	衛生・実技授業 ㉒(審査項目)	出血事故の処理状況、その他審査項目の考察。 実技練習の実施。
89~ 90	準備・実施・取り扱いの実習 ㉓準備物、取り扱い、条件の共有。	衛生上の取り扱い、技術条件、準備物、作業の進め方、課題作業終了後の遵守事項の考察する。
91~ 92	衛生・実技授業 ㉔(審査項目)	準備時間前、準備時間中、試験作業時間中、作業終了後の注意点の考察する。
93~ 94	衛生・実技授業 ㉕(審査項目)	準備物不足がないように、ウィッグ、道具・身なり、髪 の考察。実技練習の実施。
95~ 96	衛生・実技授業 ㉖髪 の衛生・作業姿勢	道具・身なり・白衣の清潔さを考察する。 実技練習の実施。 作業姿勢の考察する。
97~ 98	衛生・実技授業 ㉗用具 使用方法	道具・身なり、用具の汚れ、用具の使い方の考察する。 実技練習の実施。
99~ 100	衛生・実技授業 ㉘用具数の確認	道具・身なり、用具の数を考察する。 実技の考察。(技術の条件)
101~ 102	衛生・実技授業 ㉙クランプ	道具(クランプ)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
103~ 104	衛生・実技授業 ㉚コーム	道具(コーム)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
105~ 106	衛生・実技授業 ㉛ユリア皿	道具(ユリア皿)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
107~ 108	衛生・実技授業 ㉜ウィッグ	道具(ウィッグの顔面)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
109~ 110	衛生・実技授業 ㉝靴、白衣	道具(白衣・うち履きの汚れ)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
111~ 112	衛生・実技授業 ㉞黒パンツ	身なり(黒パンツの長さ と汚れ)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
113~ 114	衛生・実技授業 ㉟黒バック	道具(レジーナバック の中の汚れ)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)
115~ 116	衛生・実技授業 ㊱爪	身なり(爪の長さ)の考察する。 実技の考察。(技術の条件)

回	テ ー マ	内 容
117～ 118	衛生・実技授業 ⑳クランプ	道具（クランプ）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
119～ 120	衛生・実技授業 ㉑水スプレー	道具（水スプレー）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
121～ 122	衛生・実技授業 ㉒予備用具	道具（予備道具）の考察する。 実技の考察する。（技術の条件）
123～ 124	衛生・実技授業 ㉓ピン類	道具（シングルピン・シルバーピン）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
125～ 126	衛生・実技授業 ㉔汚物入れ	道具（汚物・汚物入れの取り扱い）の考察する。 実技の考察。（技術の条件）
127～ 128	衛生・実技授業 ㉕タオル	道具（タオルの使い方、指を拭く等）の考察する。 実技の考察する。（技術の条件）
129～ 130	衛生・実技授業 ㉖髪	身なり（髪をジェル・スプレーでまとめる。おでこを出す等）の考察。実技の考察する。（技術の条件）
131～ 132	国家試験対策 第2課題 ㉗	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
133～ 134	国家試験対策 第1課題 ㉘カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
135～ 136	国家試験対策 第2課題 ㉙	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
137～ 138	国家試験対策 第1課題 ㉚カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
139～ 140	国家試験対策 第2課題 ㉛	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
141～ 142	国家試験対策 第1課題 ㉜カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察。
143～ 144	国家試験対策 第2課題 ㉝	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察する。
145～ 146	国家試験対策 第1課題 ㉞カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察。
147～ 148	国家試験対策 第2課題 ㉟	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察。
149～ 150	国家試験対策 第1課題 ㊱カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察。
151～ 152	国家試験対策 第2課題 ㊲	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察。
153～ 154	国家試験対策 第1課題 ㊳カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
155～ 156	国家試験対策 第2課題 ㊴	タイム内2回計測。全体バランス、構成考察する。
157～ 158	国家試験対策 第1課題 ㊵カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。
159～ 160	国家試験対策 第2課題 ㊶	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。
161～ 162	国家試験対策 第1課題 ㊷カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。

回	テ ー マ	内 容		
163～ 164	国家試験対策 第2課題 ⑬	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
165～ 166	国家試験対策 第1課題 ⑬カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。		
167～ 168	国家試験対策 第2課題 ⑭	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
169～ 170	国家試験対策 第1課題 ⑭カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。		
171～ 172	国家試験対策 第2課題 ⑮	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
173～ 174	国家試験対策 第1課題 ⑮カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。		
175～ 176	国家試験対策 第2課題 ⑯	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
177～ 178	国家試験対策 第1課題 ⑯カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。		
179～ 180	国家試験対策 第2課題 ⑰	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
181～ 182	国家試験対策 第1課題 ⑰カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。		
183～ 184	国家試験対策 第2課題 ⑱	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
185～ 186	国家試験対策 第1課題 ⑱カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。		
187～ 188	国家試験対策 第2課題 ⑲	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
189～ 190	国家試験対策 第1課題 ⑲カッティング実践(20分)	タイム内2回計測。全体バランス向上練習 長さ、つながり、切り残し考察する。		
191～ 192	国家試験対策 第2課題 ⑳	タイム内2回計測。全体バランス向上、構成考察する。		
193～ 195	国家試験対策 通し練習	国家試験の本番を想定した通しの練習を行う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 1 公益社団法人 日本理容 美容教育センター		模擬試験 模擬試験 模擬試験 期末試験	10.0% 10.0% 10.0% 70.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)サロンワーク応用Ⅱ (前期)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	表 康子/水本 健一
授業の概要				
<p>サロンでの学外実習を通じ、美容師の仕事の実態を知る。 現場での職場体験を通じ、美容師に必要なスキルを把握し、今後の学修に活かす。</p>				
授業終了時の到達目標				
美容師の仕事に必要なスキルを理解し、今後の学校生活において自己が改善すべき課題、高めるべきスキルについて理解する。				
実務経験有無	実務経験内容			
有	表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。			
時間外に必要な学修				
毎日の実習の振り返りをその日のうちに行う				
回	テーマ	内容		
1	学外実習導入	学外実習を受ける際の注意点、着眼点について整理し、自身の目標を設定する。		
2~5	学外実習1日目	現場でのサロンワークを通じて実践力を身につける。 サロンにおける仕事の内容・流れを理解する。		
6~9	学外実習2日目	1日目の反省点を振り返り、気づきの幅を増やす。 積極的に声をかけ、仕事をもらう姿勢を重視する。		
10~13	学外実習3日目	2日までを振り返り、仕事の質を高める。 任された仕事を責任を持ってやり遂げる。		
14~15	学外実習振り返り	学外実習の振り返りから、今後の自分の課題を把握する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 公益財団法人日本理容美容教育		期末試験 実習・実技評価	70.0% 30.0%	授業の前後には予習、復習して習熟を図る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) サロンワーク応用Ⅱ (後期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	表 康子/水本 健一
授業の概要				
美容師アシスタントの基礎技術となる シャンプー、ブロー、スタイリングの勉強をし接客技術で重要なお客様とのコミュニケーションも学び笑顔の接客を目指す。				
授業終了時の到達目標				
サロンワーク応用でトップアシスタントの技術を身につける。 クラスの仲間と本物同様の模擬サロンを運営しチームワークやコミュニケーション力を身につける。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内 容		
1~ 2	シャンプー（ブロー、スタイリング）①	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（鏡前から誘導の立ち振る舞い）		
3~ 4	シャンプー（ブロー、スタイリング）②	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（誘導時の声掛け）		
5~ 6	シャンプー（ブロー、スタイリング）③	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（タオル、クロスかけ）		
7~ 8	シャンプー（ブロー、スタイリング）④	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（シャンプー時の声掛け）		
9~ 10	シャンプー（ブロー、スタイリング）⑤	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（予洗の時間と重要性）		
11~ 12	シャンプー（ブロー、スタイリング）⑥	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（シャンプーの泡立て）		
13~ 14	シャンプー（ブロー、スタイリング）⑦	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（シャンプーマッサージ・ホットタオルの重要性）		
15	シャンプー（ブロー、スタイリング）⑧	サロンワークにむけて、実践を想定しアシスタント業務を考察する。（タオルターバンの方法）		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 公益財団法人日本理容美容教育		期末試験 実習・実技評価	70.0% 30.0%	授業の前後には予習、復習して習熟を図る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)カット応用Ⅱ(前期)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	24回	48単位時間	選択	表 康子/水本 健一/谷 知里
授業の概要				
<p>サロン業務で使われるカット技術と理論を習得する。 就職した際に学ぶであろうカット、サロン内で信頼されるアシスタント、お客様に支持されるスタイリストになる為 の身につけるべき技術の応用に向けヘアスタイルの構成や流行・スタイリング合わせを学修する。</p>				
授業終了時の到達目標				
<p>ヘアスタイルの構成、展開図、毛量調整や質感、ヘアスタイリングの方法が身につく ヘアデザインを開発する基本的な素養が身につく。</p>				
実務経験有無	実務経験内容			
有	<p>表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。 谷は美容サロンで10年以上、サロンの運営及び経営に従事する</p>			
時間外に必要な学修				
<p>実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。</p>				
回	テーマ	内容		
1~2	野沢カット・ミディアムレイヤー予習	構成・展開図・デモンストレーション カット実践 展開図を描き 頭の丸み理解し 引きだす角度を理解していく。		
3~4	野沢ゼミ・ミディアムレイヤー	学校長による、課題のデモンストレーション デモの後、課題の実践、学修する。		
5~6	野沢カット・ミディアムレイヤー復習	復習 注意点など確認し、カットスタイルを学修する。		
7~8	野沢カット・前下がりにライン予習	構成・展開図・デモンストレーション カット実践 展開図を描き前下がりにラインを最初から最後まで通してカット、前下がりにラインを学修する。		
9~10	野沢ゼミ・前下がりにライン	学校長によるデモンストレーション 間近でデモを見ながら、質問し学修する。		
11~12	野沢カット・前下がりにライン復習	復習 注意点など確認し、カットスタイルを学修する。		
13~14	野沢カット・ベリーショート予習	構成・展開図・デモンストレーション 学生にスタイルの仕上がりイメージさせる。 カット実践 展開図意識させ、手順確認していく。 髪の毛の動きについても学修する。 カットするときの姿勢		
15~16	野沢ゼミ・ベリーショート	学校長によるデモンストレーション 間近でデモを見ながら、質問し学修する。		
17~18	野沢カット・ベリーショート復習	復習 注意点など確認し、カットスタイルを学修する。		
19~20	野沢カット・ツーブロック予習	構成・展開図・デモンストレーション 学生にスタイルの仕上がりイメージさせる。 カット実践 カットするときの姿勢 手順を確認し、スタイルを学修する。		
21~22	野沢ゼミ・ツーブロック	学校長によるデモンストレーション 間近でデモを見ながら、質問し学修する。		

回	テ ー マ	内 容		
23～ 24	野沢カット・ツーブロック復習	復習 注意点など確認し、カットしスタイルを学修する。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
野沢道生 スタイルブック		授業態度 確認テスト	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) カット応用Ⅱ (後期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	10回	20単位時間	選択	表 康子/水本 健一/谷 知里
授業の概要				
ヘアスタイルの構成や展開図、毛量調整や質感、ヘアスタイリングの方法に至る基礎を学び、ヘアデザインを開発する為のベースとなる技術を学修する。				
授業終了時の到達目標				
理論・手順を学修する。サロン業務でのカット技法と理論を修得する。 ミディアムレイヤー・前下がリライン・ベリーショート・ツーブロックカットの習得。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~ 2	メンズ ツーブロック復習	構成・展開図・デモンストレーション デモ後、課題の実践		
3~ 4	特別講師：野沢道生学校長	学校長による、課題のデモンストレーション デモの後、課題の実践、学修する。		
5~ 6	ミディアムレイヤー・前下がリライン ベリーショート・メンズツープ ロック復習、カット実施。	検定に向けて手順・長さ・スタイルの再現性を深める		
7~ 8	ミディアムレイヤー・前下りライン 復習	MDレイヤーの理解しているかを確認、学修する。 前下りラインの展開図確認。		
9~ 10	特別講師：野沢道生学校長検定	ジュニアスタイリスト検定を実施し・合格者にはディプロ マ発行。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
野沢道生 スタイルブック		授業態度 確認テスト	40.0% 60.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)アシスタント実務Ⅱ (前期)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	46回	92単位時間	選択	表 康子/水本 健一
授業の概要				
美容室でのアシスタントの役割を理解し、アシスタント業務を修得する。 チームでサロンワークを実施することにより、サロンにおけるチームワークを学修する。 ひとりではなく、複数人が関わりながらお客様をもてなすことで、接客面、スタッフ同士の連携などの 気づきを増やし、自身の経験につなげていく				
授業終了時の到達目標				
接客業務、特にアシスタントの業務内容を理解し、実際の場で活用できる。 お客様に対する気配りの在り方が身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1-1~ 1-2	スパ導入	スパの重要性を知り、スパの手順について学修する。		
1-3~ 1-4	スパ①	相モデル練習 サロンのメニューに加えられるレベルに到達する。		
1-5~ 1-6	コテ巻きウィッグ	コテの基本的な使い方を修得し、ウィッグを使用して内巻き、外巻きをマスターする。		
1-7~ 1-8	コテ巻き人頭	相モデルでコテを使ったスタイルを提供できるように学修する。		
1-9~ 1-10	アレンジウィッグ	相モデルでコテの使い方をマスターする。		
1-11~ 1-12	アレンジ人頭	相モデルでコテを使ったスタイルを提供できるように学修する。		
2-1~ 2-2	サロン開設に向けての準備・ 他チームモデル	提供するメニュー内容の考案、メニュー表の作成		
2-3~ 2-4	サロン開設に向けての準備・ 他チームモデル	お客様アンケート項目の考案、アンケート作成		
2-5~ 2-6	サロン開設に向けての準備・ 他チームモデル	内装・小物等の準備		
2-7~ 2-8	サロン開設に向けての準備・ 他チームモデル	他チームのサロンモデルを通じて気づきを醸成。		
3-1~ 3-2	サロンワーク 1回目①	チームでサロンワークに向けての最終チェック行い、実践 に向けた目標を設定する。		
3-3~ 3-4	サロンワーク 1回目②	サロンワークを実施する。(モデル:教職員)		
3-5~ 3-6	サロンワーク 1回目③	サロンワークの振り返り、お客様アンケートを含めて次回 に向けての改善点・課題を検討する		
3-7~ 3-8	サロンワーク 1回目④	課題の解決に向けての練習・チェックをロープレを通じて 行う。次回に向けた集客・運営面での対策を図る		

回	テ ー マ	内 容		
3-9~ 3-10	サロンワーク 2回目①	チームでサロンワークに向けての最終チェック行い、前回の反省点を踏まえた目標を設定する。		
3-11~ 3-12	サロンワーク 2回目②	サロンワークを実施する。(モデル:友人・保護者)		
3-13~ 3-14	サロンワーク 2回目③	サロンワークの振り返り、お客様アンケートを含めて次回に向けての改善点・課題を検討する		
3-15~ 3-16	サロンワーク 2回目④	課題の解決に向けての練習・チェックをロープレを通じて行う。次回に向けた集客・運営面での対策を図る		
3-17~ 3-18	サロンワーク 3回目①	チームでサロンワークに向けての最終チェック行い、前回の反省点を踏まえた目標を設定する。		
3-19~ 3-20	サロンワーク 3回目②	サロンワークを実施する。(モデル:高校生)		
3-21~ 3-22	サロンワーク 3回目③	サロンワークの振り返り、お客様アンケートを含めて次回に向けての改善点・課題を検討する		
3-23~ 3-24	サロンワーク 3回目④	課題の解決に向けての練習・チェックをロープレを通じて行う。次回に向けた集客・運営面での対策を図る		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 公益財団法人日本理容美容教育センター		取組姿勢 達成度合い お客様満足度	80.0% 10.0% 10.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)アシスタント実務Ⅱ (後期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	10回	20単位時間	選択	表康子/滝口大輔/水本健一
授業の概要				
美容室でのアシスタントの役割を理解し、アシスタント業務を修得する。 チームでサロンワークを実施することにより、サロンにおけるチームワークを学修する。 ひとりではなく、複数人が関わりながらお客様をもてなすことで、接客面、スタッフ同士の連携などの 気づきを増やし、自身の経験につなげていく				
授業終了時の到達目標				
接客業務、特にアシスタントの業務内容を理解し、実際の場で活用できる。 お客様に対する気配りの在り方が身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		表はサロンで20年以上、サロンの運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~ 2	チームごとの接客①	チーム①および②による接客を受け、他者評価を実施する。		
3~ 4	チームごとの接客②	チーム③および④による接客を受け、他者評価を実施する。		
5~ 6	授業の振り返り	これまでの授業を振り返り、ワロンワークに必要な知識・ 技術を再認識する。		
7~ 8	授業の振り返り	チームごとに実施してきた内容をまとめ、発表に備える		
9~ 10	授業の振り返り	チームごとの実施内容、結果の発表 (プレゼン形式、保護者感謝会で披露できるように)		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論 公益財団法人日本理容美容教育センター		取組姿勢 プレゼン内容	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合)メイク応用(前期)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	選択	金作 純子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアメイクアップアーティストとして求められるサービス(奉仕・貢献・世話)や、ホスピタリティ(思いやり・やさしさ・歓待)、マナーに関する基本を理解する。 ・接客スキルの基本的な流れを学び、基礎的理論の理解、フェイシャルやメイクの技術を取得した総合力を養う。 				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・相手に合わせたスキンタイプ別の状態把握、イメージメイクアップ、メイクアップカルテの作成が出来る。 ・アーティストとして現場に立つことを踏まえ、プロとしての意識を持つことや接客に取り組む姿勢の自覚を持つことが出来る。 ・ICAMメイクアップ部門 メイクアップアーティスト ベーシックコースの取得が出来る。 				
実務経験有無		実務経験内容		
有		メイクアップアーティストとして、8年間実務に就く。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ		学修内容	
1~2	<ul style="list-style-type: none"> ・ICAMライセンスとは… ・メイクアップの基礎理論① ・サービスマナーとホスピタリティマインド 		スキンケアアカウンセリングの際に求められるサービスやホスピタリティ、マナーに関する基本を理解する。	
3~4	第一印象による満足と信頼		カウンセリングの目的と方法、スキンチェックの方法と考え方を理解する。	
5~6	スキンケアアカウンセリング①		美しい肌を作る因子、スキンタイプの特徴、スキンタイプ別状態把握、カウンセリングの方法を理解する。	
7~8	スキンケアアカウンセリング②		皮膚と化粧品、化粧品取扱いの注意について理解する。	
9~10	スキンケアアカウンセリング③		栄養素と皮膚の関係 肌の改善と食生活、サプリメントの活用について理解する。	
11~12	メイクアップ基礎理論②		顔の理想的なバランス、パーツバランスと印象、輪郭と印象を理解し、ナチュラルメイクの実践。	
13~14	メイクアップに必要な色彩基礎理論		イメージタイプ別カラーコーディネートを学修する。	
15~16	ベーシックメイクアップ実践①		イメージメイクアップ(可愛い・キュート)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテ作成の実践。	
17~18	ベーシックメイクアップ実践②		イメージメイクアップ(活動的・フレッシュ)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。	
19~20	ベーシックメイクアップ実践③		イメージメイクアップ(優雅・セクシー)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。	
21~22	ベーシックメイクアップ実践④		イメージメイクアップ(知的・クール)のメイクの特徴を学修する。イメージメイク、メイクアップカルテの作成の実践。	
23~24	パーソナルカラーの基礎知識		シーズンカラー別パーソナルタイプによるメイクアップポイントを理解する。	
25~26	カウンセリングセールステクニック		スキンチェックの復習。スキンケアアカウンセリングの基本、接客の流れを理解する。	
27~28	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングメイクアップ ・クレンジング法 		質感、ライティング、デザイン、バリエーションテクニックを理解する。コスメカウンターでのクレンジング方法を学び、実践。	

回	テーマ	学修内容		
29~ 30	メイクアップ実践①	乾燥肌のスキンケア方法を取り入れ、キュートなイメージに近づけたメイクアップ、カルテ制作を实践。		
教科書・教材		成績評価の方法	評価率	授業時間外の学修
・ ICAM国際ライセンス コスメティックテキスト（メイクアップカウンセリング編） 【一般財団法人 ICAM日本支部】		・ 期末試験 ・ 授業態度 ・ 提出物	40.0% 30.0% 30.0%	各講義で実施した内容をノートやプリントを使って復習。 各日、メイク練習ごとに言われたアドバイスをノートに記録する。 ・メイクカルテ、スキンケアカウンセリングシートを各10症例を完成させる。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) 着付 (前期)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	30回	60単位時間	選択	泉谷 愛子
授業の概要				
着付けに必要な基礎知識を学ぶことにより、着付け師としての技術、技能を監修する				
授業終了時の到達目標				
着付け師が行う留袖着付け、浴衣着付けの技術が身につく。 SBS着付け検定2級取得を目指す。 浴衣や留袖の着付けはもちろん、着付けに関わるマナーや接客の在り方も身に付く。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
実習の前後には予習復習をして習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~ 2	着付けの概論① 着物の各部名称, 帯、小物の名称	着付けの理論と技術 着物の種類と季節によって変わるマナー		
3~ 4	襦袢の半襟をつける 着物のたたみ方①	襦袢の半襟を付け直す 洗濯してきれいなものを付ける		
5~ 6	小物の使用方法 着物のたたみ方②	片付け方と使用方法のレクチャーと実践練習		
7~ 8	留袖着付け① 補正作り方	体型補正 (レクチャーと実践練習)		
9~ 10	留袖着付け② 補正作り方	体型補正 (レクチャーと実践練習)		
11~ 12	留袖着付け② (体型補正)	体型補正 (レクチャーと実践練習)		
13~ 14	留袖着付け③	準備→補正→肌襦袢 (レクチャーと実践練習)		
15~ 16	留袖着付け④	準備→補正→肌襦袢→長襦袢 (レクチャーと実践練習)		
17~ 18	留袖着付け⑤	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物 (レクチャーと実践練習)		
19~ 20	留袖着付け⑥	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物→帯結び (レクチャーと実践練習)		
21~ 22	留袖着付け⑦	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物→帯結び (レクチャーと実践練習)		
23~ 24	留袖着付け⑧	準総合的に最初から最後まで仕上げる 分からないところをピンポイントで指導していく		
25~ 26	留袖着付け⑨	準備→補正→肌襦袢→長襦袢→着物→帯結び (レクチャーと実践練習)		
27~ 28	留袖着付け⑩	準備から最後までタイムトライアル②		

回	テ ー マ	内 容		
29~ 30	留袖着付け①	SBS着付け検定2級合格にのっとりタイムトライアルで実践練習		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容技術理論2（公益財団法人 日本理容美容教育センター） SBS着付け検定テキスト（全美連） 着付け道具一式		実習・実技評価 授業態度	70.0% 30.0%	

作成者: 泉谷 愛子

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) ブライダルスタイリスト実務Ⅱ (前期)		美容学科/2年	2021/前期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	10回	20単位時間	選択	泉谷 愛子
授業の概要				
ブライダルに特化しないサロンワークにも活かせる作品作りをしていく				
授業終了時の到達目標				
サロンワークに向けての作品作りができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
作品作りに向けた準備を行う				
回	テーマ	内容		
1~2	サロンに向けたフォト作品撮り①	1パターン目の作品イメージを固める		
3~4	サロンに向けたフォト作品撮り②	1パターン目の作品作り・撮影		
5~6	サロンに向けたフォト作品撮り③	2パターン目の作品イメージを固める		
7~8	サロンに向けたフォト作品撮り④	2パターン目の作品作り・撮影		
9~10	サロンに向けたフォト作品撮り⑤	1パターン、2パターンの作品の発表		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式、メイク道具一式		作品評価 授業態度	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(総合) ブライダルスタイリスト実務Ⅱ (後期)		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2021/後期	実習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	20回	40単位時間	選択	泉谷 愛子
授業の概要				
ブライダルスタイリストとしてコンセプトウエディングを理解し、新郎新婦の希望するテーマに沿ったスタイルを提案するための知識・スキルを学修する 2年間の集大成として、自分がデザインする作品の制作・発表を実施する。				
授業終了時の到達目標				
コンセプトに沿ったヘアメイクのスタイル提案ができる。 チームで取り組むことにより、チームワークのスキルを向上する。 自分自身のイメージを作品として表現できるようになる。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する		
時間外に必要な学修				
作品作りに向けた準備を行う				
回	テーマ	内容		
1~2	コンセプトウエディングについて	コンセプトウエディングとは何かを学修し、どのような事例があるのかを研究する。		
3~4	コンセプト設定	チームごとに自分たちが作る作品のコンセプトを設計する。		
5~6	コンセプトの具現化	設計したコンセプトに基づき、試作、作品作りのための準備を行う。		
7~8	作品作り・写真撮り	設計したコンセプトに基づく作品作り。 フォトウエディング形式で写真撮影		
9~10	作品発表の準備	チームごとに作品発表に向けてプレゼン材料を整える (模造紙、スライドショー、映像などなど)		
11~12	作品発表会	チームごとに自分たちの作品についての発表を行う。 発表に対して教職員が審査を行う。		
13~14	卒業展示に向けた作品イメージ固める	2年間の集大成として、卒業展示に向けた個々の作品イメージを固める		
15~16	作品イメージの具現化	卒業展示作品作りに向けた準備		
17~18	作品作り・写真撮り	卒業作品の制作・写真撮影		
19~20	卒業展示の準備	撮影した写真をもとに展示作品を制作。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
アップ道具一式、メイク道具一式		作品評価 授業態度	50.0% 50.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(演習) クリエイティブスタイルⅡ (前期)		美容学科/2年	2021/前期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	水本健一/田中美紀/滝口大輔
授業の概要				
GBC (グローバル・ビューティー・コンGRESS) にも通ずる。イメージコンバージョンを使った、モデルの似合わせ技術。 一人一人個性の違いを見つけ出し、タイプ別にヘアー、メイク、衣装を考察する。				
授業終了時の到達目標				
即戦力となる為、必要な技術の習得を実現する。 撮影技術と共にトータルビューティーの基礎を身につける事が出来る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 滝口は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	クリエイティブスタイル① (ウィッグによるデモンストレーション)	イメージコンバージョンを使ったスタイル展示。 デモンストレーションで目を使った学習。		
3~4	クリエイティブスタイル② (ウィッグのデザイン画を起こす)	イメージコンバージョンを使ったデザイン画作成。 目と指と頭を使って、紙に書く (スタイルブックを参照)		
5~6	クリエイティブスタイル③ (ウィッグで作ってみる)	デザイン画をもとにヘアスタイル作品作り。		
7~8	クリエイティブスタイル④ (ウィッグでトータルバランスを考 える)	モデル・衣装・ヘアのマッチングを考察。		
9~10	クリエイティブスタイル⑤ (イメージを想定)	トータルバランスを考察。モデルの顔かたち、身長、その人の持つ雰囲気合わせたデザイン。		
11~12	クリエイティブスタイル⑥ (モデルを使ったデモ)	イメージコンバージョンを使ったスタイル展示。デモンストレーションにより、似合わせのテクニックを考察。		
13~14	クリエイティブスタイル⑦ (ヘア・衣装・メイクのデザイン画)	イメージコンバージョンを使ったデザイン画作成。始めは2Dでヘアの設計図を起こす。		
15	クリエイティブスタイル⑧ (モデルを使って作品作り)	デザイン画をもとにヘアスタイル作品作り トータルバランスを考察。作品を360度から見る。 真似のない自分のバランス感覚を養う。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 (公社) 日本理容美容教育センター		実習・実技評価 課題・レポート	70.0% 30.0%	授業の前後には予習、復習して習熟を図る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
(演習) フォト撮影 (前期)		美容学科/2年	2021/前期	演習
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	水本健一/田中美紀/滝口大輔
授業の概要				
「サロンに通用する人材」をテーマに行う。美容師の幅を広げる狙いで、フォトの授業を行う。サロンフォト、クリエイティブフォトを通し、フォトコンに参加。				
授業終了時の到達目標				
即戦力となる為、必要な技術の習得を実現する。 撮影技術と共にトータルビューティの基礎を身につける事が出来る。				
実務経験有無		実務経験内容		
有		田中は美容サロンで5年以上運営及び経営に従事する 滝口・は美容サロンで20年近く、運営及び経営に従事する 水本は美容サロンの店長として5年以上サロンの運営及び経営に従事する。		
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1~2	フォト撮影① (撮影技術を見る)	学外コンテストに向けて、デモンストレーション/解説/モデル決定。合わせて大会のコンセプトを知る。		
3~4	フォト撮影② (イメージを作る)	学外コンテストに向けてモデル決定・絵コンテ作成 モデルを見て、ヘアデザイン・衣装、メイクを考える		
5~6	フォト撮影③ (イメージ・作品を固める)	学外コンテストに向けて、絵コンテ最終仕上げ フォトの構図・色・バランス・加工方法を仕上げる。		
7~8	フォト撮影④ (実際に撮影)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 スマートフォンを使って撮影・加工 (サロンスタイル)		
9~10	フォト撮影⑤ (実際に撮影)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 スマートフォンを使って撮影・加工 (クリエイティブ①)		
11~12	フォト撮影⑥ (実際に撮影)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 スマートフォンを使って撮影・加工 (クリエイティブ②)		
13~15	フォト撮影⑥ (コンテスト出品作品を作成)	学外コンテストに向けて準備物を用意・仕込み・撮影 撮影機材を変えて撮影。 Aグループ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
美容実習1 (公社) 日本理容美容教育センター		実習・実技評価 課題・レポート	70.0% 30.0%	授業の前後には予習、復習をして習熟を図る事。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン(前期)		美容学科/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	10回	20単位時間	必須	水本 健一/作本 智美
授業の概要				
早い段階で就職に対して危機感を持った人財の育成 面接に強い学生像を目指す。国家試験までには内定頂く。サロンが必要とする 挨拶、笑顔、掃除、言葉使いが出来る人財になる。 履歴書の作成。添削し各サロンの特徴 理解し合格を目指す。				
授業終了時の到達目標				
就職100%を目指して意欲的に取り組ませ、早期内定を決めていく。 11月には全員が内定を獲得することを目標とする。				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノート等により、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること。				
回	テーマ	内容		
1	就職先調査/面接	アンケートの実施/三者面談後面接		
2	面接練習1/面接	集団面接練習 個人個人の発言を聞き 自分の意見が言えるようになれる事。		
3	学内合同ガイダンス	県内就職希望者に限らず参加 美容業界について学び 各サロンの違いについて理解。		
4	履歴書作成/個人面談	三者面談順で面接 履歴書添削し確認。 確認し合格順に面談。		
5	履歴書作成/面接練習	集団面接練習 本番に近い形で進めていく。 各サロンデータベースで取り組んでいく。		
6	面接練習①	集団面接練習 個人個人のサロンに向けての対策、課題を解消する。		
7	面接練習②	集団面接練習 クラス全体 合格に向けてアピールの精度を高めていく。		
8	面接練習③	個人面接練習。3名でグループを組み相互に面接練習を実施。改善点を指摘しあう。		
9	面接練習④	個人面接練習。3名でグループを組み相互に面接練習を実施。改善点を指摘しあう。		
10	面接練習⑤	個人面接練習。教員と面接練習。どのような質問にも対応できるように面接スキルを磨く。		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
履歴書 自己分析シート		期末試験 授業態度	70.0% 30.0%	授業の前後には予 習、復習して習熟 を図る。

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
接遇・マナー（前期）		美容学科アドバンスドスタ ディコース/2年	2021/前期	講義
授業時間	回数	授業時数	必須・選択	担当教員
90分	15回	30単位時間	必須	小島 光世
授業の概要				
この授業では、ビューティ・コーディネーターに必要なカウンセリング知識、マネジメント知識、トータルビューティに関する知識を学習し、jbca2級合格程度の知識の習得を目指します。				
授業終了時の到達目標				
<ul style="list-style-type: none"> ・ビューティ・コーディネーターとして必要なカウンセリングの知識が習得できる ・サロンマネジメントに必要な経営やマーケティングの知識が習得できる ・トータルビューティに関する知識が習得できる 				
実務経験有無		実務経験内容		
無				
時間外に必要な学修				
講義ノートなどにより、予習・復習につとめ、授業の習熟を図ること				
回	テーマ	内容		
1	jbca概要と3級テキストの復習	ビューティ・コーディネーターのサロンにおける役割の再認識と2級学習に必要な既習知識を復習する		
2	ビューティ・コーディネーターの役割と仕事、カウンセリングの基本	ライフコーディネーターとしてのビューティ・コーディネーターの役割を理解する		
3	入店からカウンセリング	実際のお客様の流れに合わせて、入店からカウンセリングを実施する際の注意事項や具体的な内容を学ぶ		
4	カウンセリングの技術と次回予約	カウンセリングの際の注意事項やカウンセリングの流れとポイントを学習する		
5	カウンセリングのための応用技術①	施術が終わった後の店販商品の進め方また、クレーム対応の注意事項や手法を学ぶ		
6	カウンセリングのための応用技術②	お客様のタイプに合わせカウンセリングの技法やファッションスタイル別の評価について学ぶ		
7	サロンオペレーションとチームワーク	サロン運営を円滑に行うための自身の在り方、チームワークとリーダーシップについて学ぶ		
8	サロンオペレーションの向上	サロンオペレーション向上のための具体的な手法として社内連携、社外連携、マニュアルについて学ぶ		
9	社内トレーナーに必要な心構えとスキル	社内教育の基本的な手法、考え方を学び、自身がトレーナーになるための知識を習得する		
10	店販商品の販売促進	店販商品のディスプレイの基本的な考え方、popの作成ポイントなどを学ぶ		
11	サロン顧客データの管理	サロンとしての顧客管理方法、個々の顧客へのアプローチの手法を学ぶ		
12	トータルビューティメニューの知識	お客様にトータルでメニュー提案できるように、トータルビューティメニューについて知識を深める		
13	ホームケア商品の知識	お客様にホームケア用品を提案できるように、ホームケア用品に関する知識を深める		
14	問題演習①	問題演習と解説を通してカウンセリングについて学習内容の理解を深める		

回	テ ー マ	内 容		
15	問題演習②	問題演習と解説を通してサロンマネジメント、トータルビューティーに関する学習内容の理解を深める		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
jbca2級テキスト		確認テスト 期末試験	50.0% 50.0%	